

ババアメンボ *Gerris babai* Miyamoto

【選定理由】

全国的に産地は少なく、本県では数ヶ所から確認されているにすぎず、生息基盤が脆弱である。抽水植物が繁茂する水質良好な平野部の止水環境に生息するが、そのような環境が激減している。

【形態】

小型のアメンボで、体長は 6~9mm。体色は黒色で、胸部側縁の青みが強く、前脚腿節は大部分黒色を呈する。♂の第 7 節腹面の後縁中央部は台形状に湾入する。通常は長翅型が多いが、短翅型や微翅型も出現する。

【分布の概要】

【県内の分布】

豊橋市、田原市、東浦町から記録されている。

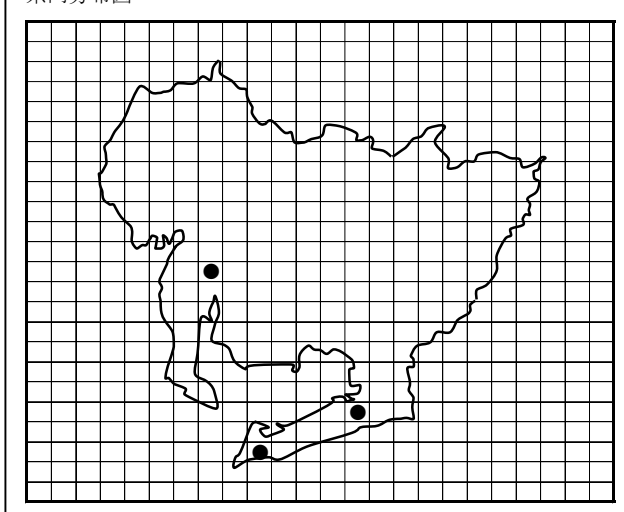
【国内の分布】

北海道、本州、九州。

【世界の分布】

ロシア (極東、東シベリア)、中国、韓国。

県内分布図



【生息地の環境／生態的特性】

生活排水の流入がない水質良好な低地の溜め池で、ガマやヨシなど抽水植物が繁茂する環境に生息する。生息地では開放水面と抽水植物帯の境界付近で確認されることが多い。しばしばエサキアメンボと共に見いだされる。

【現在の生息状況／減少の要因】

渥美半島や知多半島の沿岸部で、ガマなど抽水植物が繁茂する溜め池に生息している (矢崎・石田, 2008)。農業による水質悪化や溜め池の埋め立てなどが減少の原因と考えられる。

【保全上の留意点】

農業や生活排水が流入しないよう水質を維持管理し、抽水植物帯の保護に努める必要がある。観賞用にホテイアオイなどの水草を持ち込む場合があるが、繁殖力が強く水面を覆い尽くしてしまい、本種の活動域を消失させることになるため、外来水草の侵入も防ぐ必要がある。

【引用文献】

矢崎充彦・石田和男, 2008. 東海地方の水生半翅類. 佳香蝶, 60 (234): 165-200.

【関連文献】

林 正美・宮本正一, 2018. 半翅目 Hemiptera. 日本産水生昆虫 科・属・種への検索 (第二版): 329-427. 東海大学出版会, 神奈川.

(2009年版を一部修正)